

平成29年4月22日(土) 13:30開場
名古屋大学 多元数理科学棟 509号室

【講演1】14:00～15:00

伊師英之（名古屋大学大学院多元数理科学研究科 准教授）
「世界は三角関数で出来ている」

概要: 古代ギリシャの天文学では、複雑な惑星の動きを円運動の和として表しました。その精神は形を変えて現代にも受け継がれています。すなわち、任意の周期関数を三角関数の無限和として表して研究するフーリエ解析は、理論的にも応用的にも極めて重要で、現代科学を支えています。この講演では、自然科学者としてのフーリエの人物像と、フーリエ解析の概略をお話しします。

【講演2】15:10～16:10

磯脇勇太（名古屋大学大学院多元数理科学研究科 D1）
「 $1 + 1/4 + 1/9 + 1/16 + \dots$ 」

概要: 表題にあるような平方数の逆数の和を求める問題は「バーゼル問題」とよばれ、多くの数学者の挑戦の後、オイラーによって解決されました。この問題には様々な解法が知られていますが、本講演では、バーゼル問題をフーリエ解析を使って解く方法を紹介し、時間が許せば素数との関連についても少しだけ触れたいと思います。

参加無料・事前登録不要

—お問い合わせ—

名古屋大学

研究協力部社会連携課

TEL 052-747-6484

